

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

高知県 安芸市

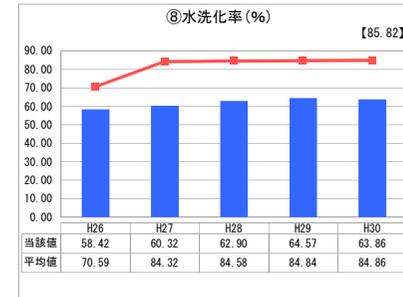
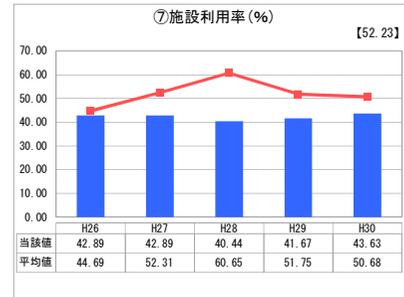
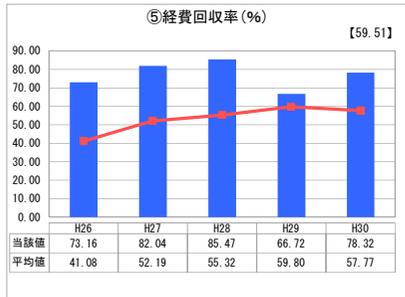
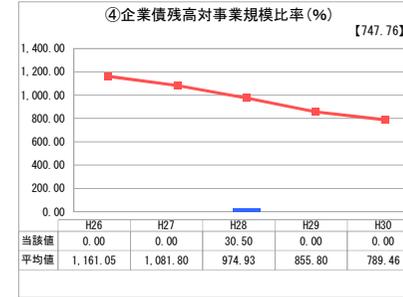
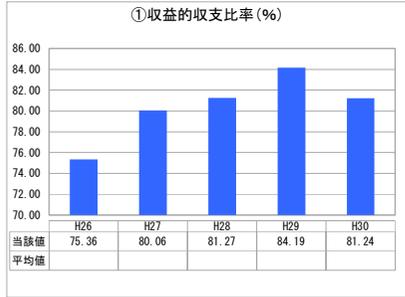
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金 (円)
-	該当数値なし	5.37	93.33	2,268

人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
17,426	317.21	54.94
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
927	0.43	2,155.81

グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- [ ] 平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①H25年度に一般会計からの繰出基準を見直した結果、比率が上がっているが100%に満たず、低い水準にある。

④H25年度に一般会計からの繰出基準を見直した結果、H25年度からは比率が0になった（H28年度の30.5は適正使用料より汚水維持管理費が低かったため、差額を充当したことによるもの）。企業債残高は年々減少しているが、残高自体が無くなったわけではないため、引き続き経営改善に取り組む必要がある。

⑤H29年度に低下した原因は、汚泥処理費の臨時的な増加によるもの（ポンプ修繕237万、臨時汚泥処理55万、処分場縮小による補助金返納135万など）。経営状況は依然苦しいため、引き続き経営改善に取り組む必要がある。

⑥H29年度に上昇した原因は、⑤と同じく汚泥処理費の臨時的な増加によるもの。今後も不明水対策などに取り組み、減少に努める必要がある。

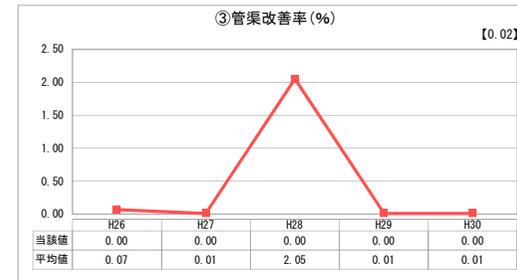
⑦平均値を下回っており、施設利用率を上げるためには、接続率を向上させることが必要である。そのため、普及啓発活動の強化に取り組んでいく。

⑧毎年度微増しているものの平均値を下回っており、水洗化率向上のための普及啓発活動の強化が必要である。

2. 老朽化の状況について

③現時点では更新が急がれる管渠は無い。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

料金水準適正化の検討、接続率向上のための啓発などに取り組み、他会計繰入金への依存度を下げる必要がある。

今後は処理場の長寿命化も必要であり、より健全・効率的な経営が求められる。

平成29年度 機能診断（赤野処理区）  
 平成30年度 機能診断（奈比賀処理区）  
 平成31年度 最適整備構想  
 平成32年度予定 計画策定  
 平成33年度予定 機能強化対策工事

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均値を表示していません。